

# 令和2年度福島市市民活動活性化支援事業補助金

## 審査会 講評

- ・全体として公益性を意識した活動が多く、活動に対する情熱が伝わる中身が多かったという点を評価したい。
- ・自分たちの活動の先にどのような社会・ビジョンを描くのかというところまで表現していただきたかった。社会がどのような状態になっているのが自分たちの理想なのか、そういった部分が企画書に少しでも表現されていると、申請事業が目指すべきビジョンのどの位置にあるのかイメージが付きやすくなり、評価にもつながると思う。
- ・申請書だけでは読み取れない部分も、ヒアリングをすることでそこを補うことができた団体については評価が高くなっている。しかし、ヒアリングの結果、活動のポイントや背景等が具体的に見えなかったところについては、評価が低くならざるを得なかった。
- ・収支予算書の書き方について、具体的な予算の使い道を詳細に提示していただきたい。
- ・いずれの事業も一過性のものにとどまることなく、この補助金をきっかけに来年も再来年も長く継続して行っていただきたい。